

令和6年度アクション・プラン【中播磨県民センター】

I 目指す姿

中播磨地域ビジョン 2050、大阪・関西万博の開催などの情勢の変化や今後の動向を踏まえ、計画期間の後期2カ年（令和5年度～令和6年度）では、以下4つを重点取組方針として設定し、都市部から自然豊かな地域に、多様で個性豊かな人々が自分らしく活躍できる中播磨の実現を目指す。

【重点取組方針】

- 1 豊かな地域資源を活かした更なる誘客促進、交流、にぎわい創出
- 2 新たな活力の創出と多様な働き方の促進
- 3 支え合い、生き生きと暮らすことができる地域づくり
- 4 安全安心な暮らしの実現とシビックプライドの醸成

【目標】

数値欄の上段は目標値、下段は実績値

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
若者が希望を持てる社会だと思う人の割合		-	-	-	15.0%	15.0%
	13.1%(R3) 東播磨 14.1%(R3)	-	-	6.7%	50.8%	R3 地域別の最高(東播磨)並(※)
観光入込者数		10,327千人	10,327千人	10,327千人	10,327千人	10,327千人
	10,327千人(H30)	4,300千人	5,412千人	8,356千人 (R5.12速報値)		コロナ禍以前の数(H30)並
観光宿泊者数		1,458千人	1,458千人	1,458千人	1,458千人	1,458千人
	1,458千人(H30)	494千人	706千人	1,357千人 (R5.12速報値)		コロナ禍以前の数(H30)並
若者の転入超過数 (20～39歳)		▲552人	▲529人	▲506人	▲483人	▲460人
	▲576人(H30)	▲868人	▲926人	▲1029人		H30の80%
(うち女性の転入超過数)		▲186人	▲178人	▲170人	▲162人	▲155人
	▲194人(H30)	▲545人	▲489人	▲501人		H30の80%
新卒高校生の管内就職割合		56.0%	57.0%	65.0%	65.0%	65.0%
	54.0%(H29)	60.3%	61.5%	61.7%		R3実績を踏まえ、より一層の充実を目指す
お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えていると思う人の割合		-	-	-	20.0%	20.0%
	20.0%(R3) 東播磨 25.1%(R3)	-	-	37.0%	61.3%	R3地域別の最高(東播磨)並
お住まいの市・町の企業に活気が感じられると思う人の割合		37.6%	38.2%	38.8%	39.4%	40.0%
	36.6%(H30)	30.6%	33.0%	20.3%	30.8%	過去5年間の最高(H30)並
お住まいの市・町の駅前や商店街に活気が感じられると思う人の割合		33.4%	33.8%	34.2%	34.6%	35.0%
	33.3%(H30)	23.8%	25.3%	21.6%	18.0%	過去5年間の最高(H30)並

地元や県内の農林水産業に活気が感じられると思う人の割合		23.2%	24.4%	25.6%	26.8%	28.0%
	22.7% (H30) 淡路 28.2% (H30)	21.4%	24.5%	21.2%	30.8%	H30 地域別の最高（淡路）並
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合		79.0%	80.5%	82.0%	83.5%	85.0%
	76.6% (H30) 神戸 85.0% (H30)	73.6%	75.5%	78.1%	74.3%	H30 地域別の最高（神戸）並

(※) 将来、中播磨で暮らす全員が、若者が希望を持てる社会だと実感できることを目指し、当面の戦略後期2カ年については、R3地域別の最高(東播磨 14.4%)を踏まえ、15%を目指す。

II 取組の方向性

1 豊かな地域資源を活かした更なる誘客促進、交流、にぎわい創出

大阪・関西万博を見据え、世界遺産「姫路城」や日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の歴史的魅力を国内外に発信するとともに、播磨灘の豊かな海の幸や農産物・酒など、様々な地域資源を活かしたフィールドパビリオンの展開支援等一層の魅力発信により更なる誘客促進を図る。加えて、播磨臨海地域道路や姫路港旅客ターミナルエリアのリニューアル等交流基盤の整備・利活用を推進するとともに、移住・二拠点居住等を促進し、一層のにぎわいを創出することで、交流・移動人口の拡大を図る。

2 新たな活力の創出と多様な働き方の促進

公民連携による地域課題の解決、産学官連携による技術交流の促進、カーボンニュートラルポートの形成等多様なステークホルダーとのパートナーシップや先端技術の導入等により、GX（グリーントランスフォーメーション）を促進し、SDGs も意識したものづくり力を強化するとともに、デジタル化の進展による DX（デジタルトランスフォーメーション）や仕事に対する人々の価値観の変化等への柔軟な対応、若者の地元就職や女性の活躍を促進し、中播磨地域に新たな活力を生み出す。

3 支え合い、生き生きと暮らすことができる地域づくり

高齢者等による地域に根ざした活動を行う団体の支援や地域住民同士のつながりを創出・強化することで、地域の元気づくりを目指すとともに、地域包括ケアシステムの構築支援、小児救急医療の適切な受診行動の促進、災害医療に携わる関係機関の研修・訓練の実施等により、住み慣れた地域で誰もが安心して、地域ぐるみで支え合い、健やかに暮らすことができる地域づくりを推進する。

4 安全安心な暮らしの実現とシビックプライドの醸成

災害に強い社会基盤の整備や地域防災力の充実・強化を促進し、自然災害に対する備えを万全にするとともに、野生鳥獣の被害対策等中播磨地域の豊かな自然環境の保全と共生に取り組み、一層の安全・安心な暮らしの実現を図る。加えて、就学・就職等で中播磨地域を離れた出身者の将来的な回帰を促進するため、ふるさと意識、地域への愛着（シビックプライド）の醸成に取り組み、「ふるさと」中播磨を次の世代へと受け継いでいく。

Ⅲ 具体的な取組（主なもの）

1 豊かな地域資源を活かした更なる誘客促進、交流、にぎわい創出

(1) 大阪・関西万博等を契機とした交流の拡大

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に、中播磨地域への交流人口の拡大を図るため、地域資源を磨き上げる「ひょうごフィールドパビリオン」の展開支援や、情報発信、機運醸成のための取組を推進する。

【主な事業】

- ① 岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験《拡充・3,000千円》
 - ・ 大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催時に、外国人の誘客、周遊を促進させることとあわせ、姫路港の利用促進や交通の充実を図るため、兵庫・岡山・香川にある観光資源(姫路城、直島等)をリンクさせた実証実験を、令和5年度から2ヶ年で実施
- ② 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト《拡充・13,100千円》
 - ・ JR姫路駅において、かつて銀の馬車道が通っていた場所にフロアシール等を貼り付け当時の道を再現
 - ・ 銀鉱石をイメージした白いカボチャを「銀馬車かぼちゃ」としてブランド化し、沿線地域内外にプロモーションを展開
 - ・ 「ひょうごサイクリングモデルルート」の「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」を活用したサイクルトレインの運行
- ③ インバウンドをターゲットとした多言語パンフレット制作《新規・4,300千円》
 - ・ 2025年大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭等に訪れる外国人訪問客を中播磨地域に呼び込み、中播磨全体の周遊促進を推進するため、令和4年度に作成した中播磨ツーリズムガイドマップの外国語版(英語、中国語、韓国語等)を作成・配布
- ④ クルーズ見本市出展への参画《新規・1,500千円》
 - ・ 大型クルーズ客船の姫路港寄港増による地域活性化を目指し、アメリカ合衆国マイアミで開催されるクルーズ見本市「シートレード・クルーズ・グローバル2024」の出展に参画する。更に、訪日外国人が増加する2025年の大阪・関西万博を見据え、海外船社本社へのポートセールスにより姫路港への寄港増を図る
- ⑤ 播磨のさかなとブルーツーリズム支援事業《4,800千円》
 - ・ 都市住民等を対象とした漁業船見学ツアー、漁村地域における食事体験や島内散策、漁業者との交流等「ブルーツーリズム」の取組を支援
- ⑥ 中はりま食文化の発信《4,000千円》
 - ・ 「GI『はりま』等の酒の海外プロモーション
 - ・ 姫路食博2024の開催支援

(2) 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

姫路港が中心を担う播磨臨海地域においてカーボンニュートラルに向けた拠点とするための取組を推進する。また、新たな物流ターミナルの整備や旅客ターミナルエリアのリニューアルの推進により、姫路港の活性化を図る。

【主な事業】

- ① カーボンニュートラルポートの形成《-》
 - ・ 脱炭素化に向けた取組を推進
- ② 物流ターミナルの整備《-》
 - ・ 岸壁や臨港道路の整備等、広畑地区で国際物流ターミナルの整備を推進
- ③ 背後圏企業へのポートセールス活動の展開《-》
- ④ 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル
- ⑤ 大型クルーズ船誘致活動強化事業《1,100千円》
 - ・ 姫路港に入港予定のクルーズ船の受入にあたり、今後の再入港につながるような歓迎行事の実施
- ⑥ 姫路港ふれあいフェスティバルの実施《3,700千円》
- ⑦ 岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験（再掲）
- ⑧ クルーズ見本市出展への参画（再掲）

（3）交流を支える交通基盤の整備

暮らしや産業、観光など中播磨地域の元気を支える重要な交流基盤として、利便性・安全性を高める道路の整備や、鉄道の利用促進等を進めることで、さらなる交流を促進する。

【主な事業】

- ① 日常生活や地域を支える道路整備《-》
 - ・ 渋滞交差点の解消・緩和
- ② 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成《-》
- ③ 姫路駅周辺道路等の整備推進《-》
- ④ 播磨臨海地域道路の整備促進《-》
- ⑤ JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業《1,100千円》
 - ・ 沿線市町と連携した利用促進のための取組の実施

2 新たな活力の創出と多様な働き方の促進

（1）公民連携で取り組む中播磨地域の活性化

行政課題の複雑化・高度化が進み、行政のみでの課題解決を図ることは困難となり、公民連携の重要性が高まっている中、中播磨地域の団体・企業等と連携し、そのノウハウやネットワーク等を活かしながら、公民連携で中播磨地域の活性化、課題解決に取り組む。

【主な事業】

- ① 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業《新規・1,000千円》
 - ・ 地域に根ざしたユニバーサル活動を応援する企業・団体等と連携し、就労に不安を持つ若者を活用した事業を実施
- ② 新技術等の実用化にむけた中はりま公民連携事業《1,500千円》
 - ・ 自動運転等、社会課題解決のための実証実験・調査を公民連携で実施

(2) ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

産学官の連携による技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図るとともに、ものづくりを支える人材を確保するため、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

【主な事業】

- ① 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ《新規・1,200千円》
 - ・ 高校生とコラボレーションした商品開発等を希望する中小企業の担当者と、地元高校生との交流会やワークショップ等を実施
- ② ものづくりを支える人材確保支援《拡充・3,400千円》
 - ・ 地場産業企業等の魅力を紹介するアウトリーチ説明会や、県内外の学生を対象とした工場見学や企業研究会を開催
- ③ 産学官連携による「中はりま産業力」強化《1,100千円》
 - ・ 「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2024」の開催
 - ・ 企業関係者や高校生等を対象に、大学研究施設見学ツアーの実施
- ④ 新技術の実用化にむけた中はりま公民連携事業（再掲）
- ⑤ カーボンニュートラルポートの形成（再掲）

(3) 持続可能な農林水産業の推進

中播磨地域における集落営農組織の経営サポートやスマート農業技術の導入・普及事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

【主な事業】

- ① 中はりま農業パワーアップ作戦《拡充・1,400千円》
 - ・ 消費者や実需者のニーズ把握や生産者と実需者(消費者)とのマッチング(調整)を支援
 - ・ アシスト機能付きトラクタなどスマート農業機械の効果を体験できる「実演会」の開催
- ② 豊かな海 再生・体験推進事業《拡充・3,700千円》
 - ・ カキ養殖で発生するカキ殻等を海底に散布することにより、ゴカイなどの底生生物の発生を促す実証事業を実施
 - ・ シングルシード等の新技術を用いた養殖方式の普及促進、アサリ等の新たな種苗生産や中間育成方法の導入等の取組を支援
- ③ 農業生産基盤の整備《-》
- ④ 水産資源を守り育てる増殖場の整備《-》
 - ・ 漁場条件に恵まれていない播磨灘中・西部海域における人工増殖場の造成

3 支え合い、生き生きと暮らすことができる地域づくり

(1) 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進

地域の課題解決に向けた地域団体等の活動支援による地域住民同士のつながりの創出・強化や、誰もが担い手として活躍できる地域を目指す取組を推進する。

【主な事業】

- ① 中播磨地域づくり活動応援事業《拡充・8,700千円》
 - ・ 地域団体等による地域課題解決の活動支援
- ② 中播磨フードドライブの実施《-》
- ③ 地域づくり研修会の開催《80千円》
 - ・ 地域づくりの中心となる自治会長が、県事業の必要性や遂行にあたって生じる問題点について認識を深めるための研修会を開催
- ④ 地域に根ざしたユニバーサル活動を応援する団体との公民連携モデル事業（再掲）
- ⑤ 管内プロスポーツクラブとの連携・協力の推進
 - ・ 県内のこどもたちがスポーツに触れる機会の創出や県施策への理解促進を図るため、管内プロスポーツクラブとの包括連携協定の締結を推進

(2) 青少年等の健全育成活動の推進

青少年等の健全育成のため、地域、行政等が連携した県民スクラム運動の展開を図るほか、スポーツや自然体験等、多様な体験活動の場を提供する。

【主な事業】

- ① 親子、世代間ふれあい事業の実施《-》
 - ・ 神河町で300年の歴史ある「仙霊茶」の茶摘み体験
 - ・ 地元の海を楽しむカヌー・カヤック等体験会の開催
- ② スポーツ活動を通じたこどもの健全育成の推進《-》
 - ・ 地元のプロチームであるヴィクトリーナ姫路の選手によるバレーボール教室を開催
- ③ 青少年健全育成・非行防止啓発事業《-》
 - ・ 青少年の健全育成を目的とするイベントやセミナー等での啓発資材等の配布

(3) 健康で安心できる暮らしづくりの推進

誰もが安心して医療を受けられ、住み慣れた地域で健康に暮らすことができるよう、子どもから高齢者まで地域ぐるみで支え合う環境づくりを推進する。

【主な事業】

- ① 小児救急医療・適切な受診行動の促進《290千円》
- ② 地域包括ケアシステムの構築支援《-》
 - ・ 神崎郡3町の地域包括ケア推進会議の開催
- ③ 地域を支える看護人材の確保《-》
 - ・ 「看護職合同就職説明会」の開催支援

4 安全安心な暮らしの実現とシビックプライドの醸成

(1) 安全安心な暮らしの推進

治水・地震・高潮・土砂災害対策等による災害に強い社会基盤整備や、地域防災力の向上を推進するとともに、日常に潜む犯罪・交通事故・消費者被害等への対策を講じることで、安全安心な暮らしの実現を図る。

【主な事業】

- ① 中播磨地域 災害時保健医療マップ作成《新規・370 千円》
- ② 災害に強い社会基盤整備の推進《-》
- ③ 老朽化対策の推進《-》
- ④ 「ひょうご安全の日」中播磨地域のつどいの開催《190 千円》
- ⑤ 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業《180 千円》
 - ・ 街頭啓発等の実施
- ⑥ 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業《-》

(2) シビックプライドの醸成

地域の営みや地域資源を磨き上げ、その魅力を発信するとともに、地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援することで、子どもや若者が地域に対する愛情・誇りを感じ、住み続けたいと感じられる地域づくりを推進する。

【主な事業】

- ① 小学生への社会基盤整備PR事業《-》
 - ・ 「川・道・港・まち」をテーマとした絵画コンクールの実施
- ② 中播磨地域ビジョンの推進《300 千円》
 - ・ フォーラムの開催等による普及啓発の実施
- ③ 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業《760 千円》
 - ・ 歴史的・文化的・技術的価値のある農業水利施設の継承
- ④ 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ《2,200 千円》
 - ・ 青少年伝統文化セミナーの実施等による若者のふるさと意識醸成の推進

(3) 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現

生物多様性の確保や森林・農地の持つ多面的機能の維持・保全など人と自然の共生を図るとともにゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進することで、中播磨の豊かな自然環境を次の世代へ受け継ぐ。また、次代を担う子どもたちに環境の大切さを伝える環境学習を推進する。

【主な事業】

- ① 縣市連携による家島の野生動物被害対策《新規・300 千円》
 - ・ イノシシ被害防止対策に取り組める環境の整備を姫路市と連携して推進
- ② 人と野生動物が共生できる地域創出事業《-》
 - ・ 若者や狩猟未経験者等を対象とした狩猟講座等の実施支援
- ③ 野生動物の被害対策の推進《-》
- ④ 持続可能な森林経営に向けた森づくり《-》
 - ・ 林内路網の整備等
- ⑤ 環境学習の推進《260 千円》
 - ・ 「青少年向けの体験型環境学習事業」の開催
- ⑥ カーボンニュートラルポートの形成（再掲）
- ⑦ 中播磨フードドライブの実施（再掲）